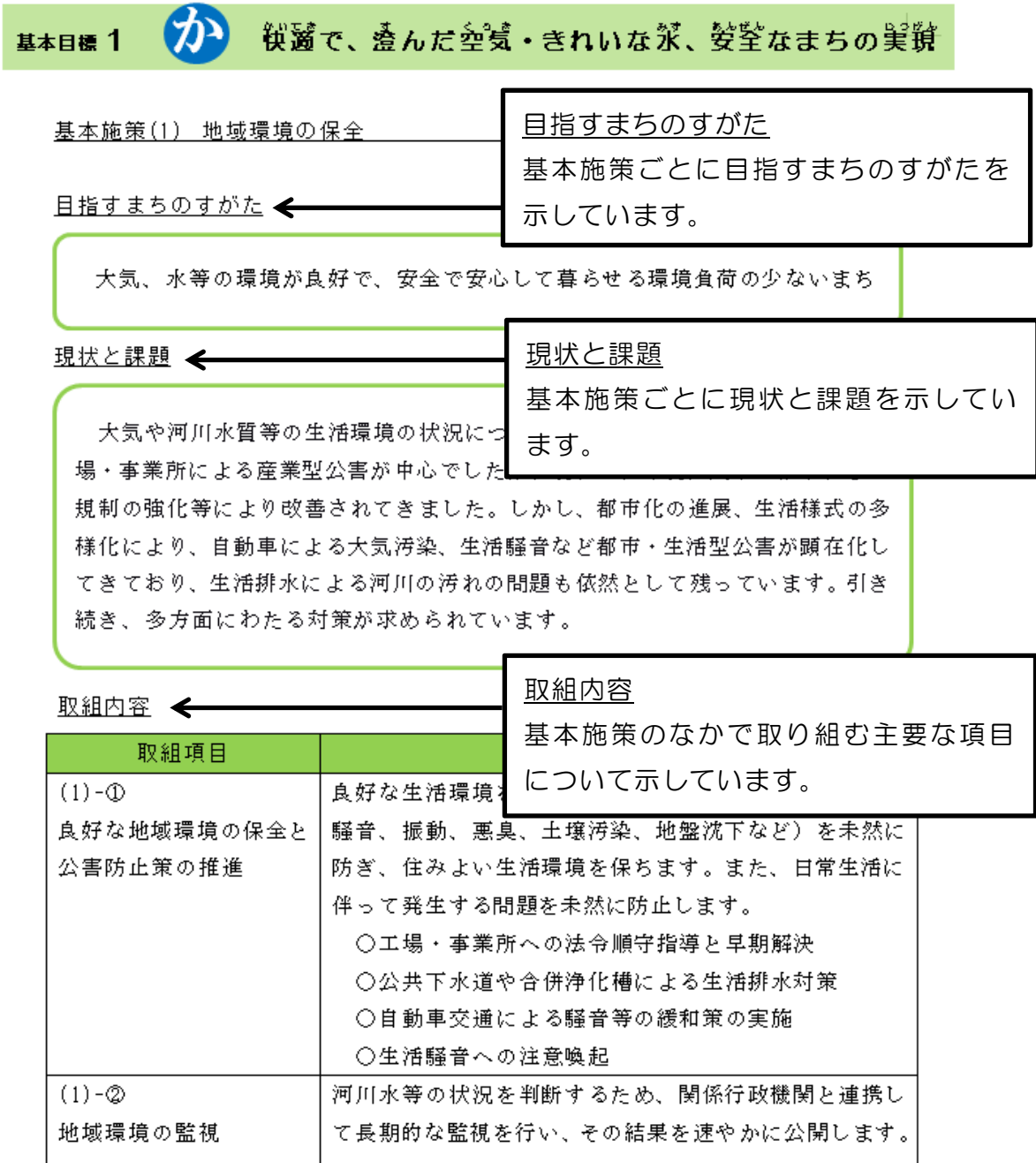


第4章 環境像実現に向けた基本施策

本計画を効果的に推進し、環境像を実現するためには、各施策や事業に総合的に取り組むことが必要です。環境像の実現に向けた環境基本目標を具体化するため、市が取り組む基本施策ごとに「目指すまちのすがた」、「現状と課題」、「取組内容」について示します。

【図表4-1：基本施策の見方】



基本目標 1



か かいてき 快適で、す 澄んだ空気・きれいな きれいな水、あんぜん 安全なまちの じつげん 実現

基本施策(1) 地域環境の保全

目指すまちのすがた

大気、水等の環境が良好で、安全で安心して暮らせる環境負荷の少ないまち

現状と課題

大気や河川水質等の生活環境の状況については、公害問題として、かつては工場・事業所による産業型公害が中心でしたが、現在は、環境に関する法令による規制の強化等により改善されてきました。しかし、都市化の進展、生活様式の多様化により、自動車による大気汚染、生活騒音など都市・生活型公害が顕在化してきており、生活排水による河川の汚れの問題も依然として残っています。引き続き、多方面にわたる対策が求められています。

取組内容

取組項目	内容
(1)-① 良好な地域環境の保全と 公害防止策の推進	<p>良好な生活環境を阻害する公害（大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下など）を未然に防ぎ、住みよい生活環境を保ちます。また、日常生活に伴って発生する問題を未然に防止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工場・事業所への法令順守指導と早期解決 ○公共下水道や合併浄化槽による生活排水対策 ○自動車交通による騒音等の緩和策の実施 ○生活騒音への注意喚起
(1)-② 地域環境の監視	<p>河川水等の状況を判断するため、関係行政機関と連携して長期的な監視を行い、その結果を速やかに公開します。</p>

市の花
フジ Vol.1

市の花であるフジは、マメ科フジ属のツル性の落葉低木で、春に淡紫色又は白色の花を房状に咲かせます。日本最古の文献「古事記」や歌集「万葉集」にもフジが登場し、古くから人々に愛されてきました。



基本目標 1



快適で、澄んだ空気・きれいな水、安全なまちの実現

基本施策(2) 化学物質の監視

目指すまちのすがた

化学物質に対する正しい情報や知識を共有し、相互に理解を深めているまち

現状と課題

化学物質による人や動植物への影響を減らすためには、法令遵守はもとより、事業者による適正管理を促進するとともに、市民・事業者・市が化学物質に関する正確な情報を共有し、相互に理解を深めていくことが重要です。

また、今後、全国的に増加が見込まれている、石綿（アスベスト）使用建築物の解体工事に伴う石綿飛散の防止や、東京電力福島第一原子力発電所事故による環境への影響について、把握することが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(2)-① 化学物質による環境リスクへの対応	PRTR 制度や PCB 廃棄物の保管・処理など、化学物質に関する規制について周知、啓発を行います。
(2)-② 化学物質の情報共有・相互理解の推進	事業者が地域住民に対して、化学物質に関する情報公開をすることにより、相互に理解を図れるよう、県等と連携した支援に努めます。
(2)-③ 化学物質等の監視	ダイオキシン類等の化学物質、空間放射線量の監視を実施します。
(2)-④ 石綿対策の推進	石綿の大気中への飛散を防止するため、建築物の解体現場などにおける飛散防止対策の指導を徹底します。

市の花
フジ Vol.2

市内にある牛島のフジは、樹齢1,200年以上ともいわれ、1955年（昭和30年）8月に国の特別天然記念物に指定、1989年（平成元年）には新日本名木百選にも選ばれました。



春日部市の花・木・鳥 コラム



基本施策(1) 身近な自然環境の保全

目指すまちのすがた

豊かな緑と水辺の保全、公園の適正な管理が行われているまち

現状と課題

都市化に伴い、人と自然との関係が薄れつつあります。自然への関心を高めるまちづくりを推進するため、自然とのふれあいの場である公園や川沿いの緑道等の適正管理を行うことが必要です。

また、歴史・文化・景観が調和した自然の保全・活用を進めながら、市の貴重な自然を後世へと継承し、地域の郷土愛を育てていくことが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(1)-① 緑地と水辺環境の保全	地域特性を生かしながら、自然とのふれあいや心のやすらぎの場となる公園や川沿いの緑道等の適正管理に取り組みます。
(1)-② 歴史・文化・景観が調和する自然の保全と継承	「春日部市景観条例」や「春日部市景観計画」に基づいた美しいまちづくりと、歴史・文化・景観の魅力を支える自然の保全、活用に取り組みます。また、春日部の歴史・文化を学習する機会を増やします。
(1)-③ 良好な景観の形成	良好な景観を形成するため、屋外広告物等による道路や水路などへの不法な占有を防止します。

市の花 フジ Vol.3

春日部郵便局から春日部地方庁舎間の車道を挟んで左右の歩道上に約1.1kmの藤棚が1980年(昭和55年)に整備され、「ふじ通り」として親しまれています。毎年、「春日部藤まつり」の頃には、200本を超えるフジが花房のすだれをつくり、市民の皆さんをお待ちしています。



春日部市の花・木・鳥 コラム



基本施策(2) 自然の活用の推進

目指すまちのすがた

開発行為や建築行為に対して、自然と調和する活動が行われているまち

現状と課題

開発行為や建築行為によって緑や農地、水辺が減少しています。ヒートアイランド対策の点からも、街路樹や屋敷林などの既存の緑を守るとともに、さらなる緑化活動、農地の適切な保全管理に取り組むことが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(2)-① 開発等と自然との関係調整	開発行為、建築行為に対する緑化や公園緑地設置等の指導を行います。 環境に配慮した自然と調和した空間づくりを目指し、地区計画や建築協定を推進します。
(2)-② 農地の維持・保全、都市農業の活性化	農地の保全を促進し、農産物の地産地消を目指します。また、農地による地下水かん養や洪水調節機能を促します。

市の木
キリ Vol.1

キリは、ゴマノハグサ科キリ属の落葉広葉樹です。高さは約10メートルで、初夏に淡紫色の花を付けます。キリは、日本の樹木のなかで最も軽い木材です。木目が美しく、狂いが少ないため、たんすなどに用いられます。市では、特産品である桐たんす、桐箱、押絵羽子板などの材料として用いられています。



春日部市の花・木・鳥 コラム



基本施策(3) 生物多様性の保全

目指すまちのすがた

多様な生き物が生息し、バランスのとれた生態系が守られているまち

現状と課題

開発行為、外来種の移入や地球温暖化の影響によって全国的に生物の多様性が失われつつあります。また、ペットとして飼いきれなくなったアライグマなどが野生化、繁殖して生態系のバランスを壊しつつあります。生物多様性の重要性を理解するとともに、外来種の移入と拡大の防止をすることが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(3)-① 生物多様性の保全の取組	希少生物種の生息・生育状況の情報を収集するとともに、生息空間の保全に取り組みます。
	外来生物法や生態系被害防止外来種リストに基づく外来生物対策を行います。
	市民参加による生き物調査を実施します。
	自然保護に関する意識の向上を目的とした自然観察教室を開催します。



自然観察会の様子

基本目標 3



かんが 考えよう、ごみの減量・リサイクル、持続可能なまちの実現

基本施策(1) ごみの減量化・持続可能な資源利用の推進

目指すまちのすがた

ごみの減量化、分別処理が適正に行われ、リサイクル、資源化が進んでいるまち

現状と課題

ごみの減量化・資源化は少しずつ進んでいますが、分別の徹底や回収方法の検討など、意識啓発を図るためのさらなる取組が必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(1)-① ごみの発生の抑制	3R（リデュース・リユース・リサイクル）と 3M（マイバッグ・マイボトル・マイはし）の推進により、ごみを最小限に抑える取組を行います。 また、食品ロスを減らし、食糧資源の有効利用を啓発することでごみの減量化を推進します。
(1)-② 再資源化の推進	リサイクル活動や事業に対しての支援を促進します。
(1)-③ 水の循環利用の推進	水資源の確保のため、節水の啓発や雨水の再利用を推進します。

市の木
キリ Vol.2

桐たんすや桐箱などの桐工芸品は、江戸幕府3代将軍 徳川家光による日光東照宮の造営に携わった大工が、日光街道の宿場町であった粕壁宿で伝え、江戸時代中頃から後半にかけて広まったといわれています。また、押絵羽子板は、戦時中、浅草の職人たちが、桐工芸品の伝統がある春日部に疎開してきたことに始まります。市の木「キリ」については、南栄町中央児童公園、大沼第4公園、牛島公園などでみることができますので、ぜひご覧になってください。



基本目標 3



かんが 考えよう、ごみの^{げんりょう}減量・リサイクル、^{じぞくかのう}持続可能な^{じつげん}まちの実現

基本施策(2) 不法投棄の防止・環境美化活動の推進

目指すまちのすがた

ごみの散乱、不法投棄のない美しいまち

現状と課題

タバコの吸い殻や空き缶等の生活ごみのポイ捨て、空き地や集積所への家電製品や家具類、建設廃材などの不法投棄が見受けられます。不法投棄を防止し、環境美化推進のための取組が必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(2)-① 不法投棄防止の推進	ごみの適切な処理についての啓発・指導等により、不法投棄の未然防止を推進します。
(2)-② 環境美化活動の推進	地域の環境美化推進のため、屋外広告物の対策や地域の清掃活動を支援します。
(2)-③ 路上喫煙防止の推進	「春日部市路上喫煙の防止に関する条例」について、幅広い方法で啓発を行い、路上喫煙の防止に努めます。



環境美化活動の様子



路上喫煙防止の巡視の様子

基本目標 3



かんが 考えよう、ごみの^{げんりょう}減量・リサイクル、^{じぞくかのう}持続可能な^{じつげん}まちの実現

基本施策(3) ごみの適正処理の推進

目指すまちのすがた

有害廃棄物や産業廃棄物についても情報共有が進み、適正に処理されているまち

現状と課題

ごみの適正な処理を推進するため、一般廃棄物の正しいごみ出しのルールのほか、フロン類・PCB（ポリ塩化ビフェニル）・石綿などの有害廃棄物の処理について啓発を行い、ごみ処理施設の効率的な運営管理を行うことが必要です。

また、PCB 廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により高濃度 PCB 廃棄物を 2022 年度（平成 34 年度）末までに、低濃度 PCB 廃棄物を 2026 年度（平成 38 年度）末までに全て処理することが示されています。

そのため、県と連携しながらこれらの適正処理を進めていくことが重要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(3)-① 適正処理の確保	「春日部市一般廃棄物処理基本計画」を推進するとともに、フロン類・PCB・石綿などの有害廃棄物の適正処理について啓発します。また、ごみ処理施設の適正管理を行います。
(3)-② 災害廃棄物の適正処理	災害が発生した場合には「春日部市災害廃棄物処理計画」に基づき適正に処理を行います。市民の安全な生活環境を確保するとともに、迅速な復旧・復興を行うため、災害廃棄物の処理にあっても、環境に配慮した対策を実施していきます。

市の鳥
ユリカモメ Vol.1

ユリカモメは、チドリ目カモメ科の冬鳥で、全長約 40cm、足とくちばしは赤色、羽は灰色をしています。頭部の色は、夏場は茶色、冬場は白くなります。目の後ろに黒い斑点があるのが特徴です。



春日部市の花・木・鳥 コラム

基本目標 4



べんり
便利さよりも、無駄をなくしたエコライフ、
ていたんそ
低炭素なまちの実現
じつげん

基本施策(1) エネルギーの管理と高効率設備の導入による省エネルギーの推進

目指すまちのすがた

省エネルギーの取組を進めることで、快適でありながら低炭素な暮らしができるまち

現状と課題

温室効果ガス排出量の削減を進めるため、市民・事業者・市それぞれでエネルギーの管理に関する意識啓発と高効率設備の導入による省エネルギーを推進することが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(1)-① 省エネルギーの推進	エネルギーの管理に関する手法や高効率設備の導入による省エネルギーを進めるための情報提供をします。
(1)-② 都市整備等における低炭素化	自然と調和したコンパクトシティを目指すと同時に、エコドライブやエコカーの普及を推進します。
(1)-③ 環境配慮商品等の購入の推進	市役所におけるグリーン購入を推進するとともに、グリーン購入やエコマーク商品の購入を推進するための情報提供を行います。

市の鳥 ユリカモメ Vol.2

ユリカモメは、平安時代の代表的な物語「伊勢物語」に歌われた、都鳥です。主人公といわれている京の貴族 在原業平は、遠く都を離れて東国を旅している時に、隅田川（現在の古隅田川）に遊ぶ都鳥をみて、ふるさとの京の都を懐かしみ、歌を詠みました。春日部八幡神社参道の「都鳥の碑」は、この故事を記念して幕末の嘉永6年（1853年）に建てられたものです。



春日部市の花・木・鳥 コラム



基本施策(2) 再生可能エネルギー等の導入推進

目指すまちのすがた

再生可能エネルギー設備等の導入が進み、火力発電になるべく頼らないクリーンなまち

現状と課題

再生可能エネルギーのうち、特に太陽光発電設備の導入は進んでいますが、地域の温室効果ガス排出量は、削減できていません。実効性のある地球温暖化対策を行うためには、二酸化炭素を大量に発生するエネルギー利用のあり方を見直し、環境にやさしい再生可能エネルギー等の導入を今まで以上に進めていくことが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(2)-① 再生可能エネルギー等の導入推進	再生可能エネルギー・蓄エネルギーなどのエコ設備の導入を推進するため、情報提供をします。
(2)-② 市有施設における再生可能エネルギー設備等の導入推進	「春日部市役所が取り組む地球温暖化対策実行計画」を推進し、太陽光発電設備等の導入を進めます。

武里太陽光発電所

2015年（平成27年）8月、個人の寄附により沼端小学校第二グラウンド跡地に自然エネルギーを活用した太陽光発電所が完成しました。発電所には、発電量が確認できるように発電メーターパネルを設置しています。





基本施策(3) 地球温暖化適応策

目指すまちのすがた

気候変動について情報を収集し、温暖化の影響に備えるまち

現状と課題

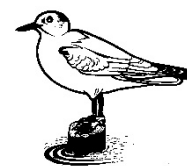
温室効果ガスによる気候変動すなわち地球温暖化は、集中豪雨や猛暑などの異常気象の発生に関係していると考えられており、今後、増加すると推定される異常気象の被害を減らすための対応が求められています。また、適応策に関する情報を収集し、広く市民に提供することが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(3)-① 異常気象に備えた まちづくり	まちづくり検討の際に、豪雨や猛暑による被害が低減されるように配慮します。
(3)-② 気候変動への対応に 関する情報提供	クールビズ・ウォームビズの取組などの、地球温暖化に適応するための対策や、地球温暖化の現状について、情報提供をします。
(3)-③ 気候変動に適応した農作物への 転換支援	高温の気象条件に対応した作物の品種改良や変更に関する情報を収集し、農家等へ情報提供します。

市の鳥 ユリカモメ Vol.3

ユリカモメは冬場、市内の中心を流れる古利根川にえさを求めて飛来し、その愛らしい姿で市民の皆さんに親しまれています。午前中に古利根公園橋の欄干に止まって、日光浴を楽しんでいる姿をよくみかけることができますので、ぜひご覧になってください。





基本施策(1) 環境意識

目指すまちのすがた

一人ひとりが環境にやさしいライフスタイルを実践するまち

現状と課題

多くの環境問題について、市は情報を提供し、市民・事業者と共通認識を持って共に考え、解決に向けた行動をすることが重要です。

そのなかでも、多様化する環境問題に対応するためには、一人ひとりが環境を敬う心と熱意を持ち、それぞれの役割分担のもとで環境に配慮した行動を主体的に実践することが重要です。

そのため、環境意識の啓発を進めるとともに、市民・事業者・市の取組を結び付け、交流する場を増やしていくことが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(1)-① 環境にやさしい ライフスタイルの推進	環境問題について理解を深める効果的な情報提供や発表・展示等の企画を行います。 市民・事業者・市のネットワークを生かした推進体制を構築します。



基本施策(2) 環境教育

目指すまちのすがた

誰もが環境問題に関心を持ち、環境に関する豊かな知恵が生かされるまち

現状と課題

美しい環境を保全し、将来へ引き継いでいくためには、環境に配慮した行動を実践し、その知恵を周囲へ広げられる人材の育成が重要です。

環境に関わる活動への参加状況については、若年層における参加率が低い傾向にあることから、将来を担う子どもを中心に、多様な年代に対して、学校や地域における環境学習を進めるとともに、県や近隣大学等と連携しながら、環境に関する幅広い知識を学ぶ機会を増やしていくことが必要です。

取組内容

取組項目	主な内容
(2)-① 人材の育成	将来を担う子どもを中心に、市民に幅広く環境について学ぶための機会を増やし、人材育成を進めます。